

指導者の国際化

- Respectされる日本人指導者になるためには -

早稲田大学 武藤ゼミB

岡本隆文 黒田結木

永見健太 山田祐聖

目次

- 緒言
- 研究目的
- 現状①、②
- 考察
- 政策提言
- まとめ
- 参考文献

緒言

- ・ サッカーにおける日本人指導者の活躍が少ない
- ・ 世界に目を向けると「競技力≒指導力」の傾向が強い
- ・ アジアにおいて日本の競技力はトップレベルである

アジアトップレベルの競技力を生かし、アジア諸国に日本人指導者を普及させることが可能であるのではないか。

研究目的

アジア諸国に日本人指導者を派遣し、**その国のサッカー人気や競技力向上に貢献**する。

日本人指導者や日本サッカーがRespectされることで、**日本に対するイメージの向上やJリーグの人気**につながる。

現状①

-日本における現状-

日本の競技力はアジアトップレベル

- ◇FIFA ランキング48位(2014年9月現在)
- ◇AFC ランキング2位(2014年9月現在)
- ◇アジアカップ過去4大会中3大会優勝
- ◇日本人選手の海外活躍

-日本人の指導実績-

日本人指導者の活躍はあまり見られない。日本サッカー協会はアジア諸国に派遣しているが、短期的な事例が多い。

今井 敏明	チャイニーズ・タイペイ	代表監督 (2005年12月01日～2007年12月31日)
塩澤 敏彦	ネパール	代表監督 (2005年11月02日～2006年01月31日)
築舘 範男	グアム	代表監督／技術委員会委員長 (2005年02月23日～2011年01月31日)
神戸 清雄	グアム	代表監督 (2003年02月01日～2005年01月31日)
神戸 清雄	フィリピン	代表監督 (2002年03月01日～2003年02月28日)
今井 雅隆	マカオ	代表監督 (2003年02月01日～2005年01月31日)
今井 雅隆	フィリピン	代表監督 (2001年01月01日～2001年12月31日)
今井 雅隆	マカオ	代表アシスタントコーチ (2000年03月01日～2000年10月31日)
上田 栄治	マカオ	代表監督 (1999年12月01日～2002年01月31日)

図1 JFA公認指導者のアジア諸国への派遣実績(一部抜粋)

現状②

-アジア諸国における現状-

アジア諸国においてサッカーは人気

◇アジア14都市中10都市で好きなスポーツ1位

◇各都市におけるトップ5もサッカーが1位

好きなスポーツ <トップ5> Q:どのようなスポーツを観たりするのが好きですか。(複数回答) (%)

	1.	2.	3.	4.	5.
香港	サッカー 47.0	水泳 38.3	バスケットボール 33.6	バドミントン 26.8	テニス 25.1
台北	野球 50.2	バスケットボール 49.4	フィギュアスケート 25.6	テニス 23.6	水泳 23.4
ソウル	サッカー 65.4	野球 49.8	フィギュアスケート 28.7	水泳 21.9	バスケットボール 21.7
シンガポール	サッカー 36.9	水泳 12.4	バドミントン 10.4	バスケットボール 8.1	テニス 7.0
クアラルンプール	サッカー 43.2	バドミントン 33.7	水泳 4.8	バスケットボール 3.2	モータースポーツ 3.0
バンコク	サッカー 56.1	ボクシング 24.7	テニス 16.1	モータースポーツ 14.8	水泳 13.7
メロマニラ	バスケットボール 74.4	ボクシング 62.0	バレーボール 22.9	サッカー 17.9	水泳 17.2
ジャカルタ	サッカー 55.4	バドミントン 25.2	モータースポーツ 9.3	ボクシング 9.0	バレーボール 5.2
ホーチミン	サッカー 46.1	水泳 10.1	バドミントン 9.7	テニス 6.9	ボクシング 5.1
デリー	クリケット 73.9	サッカー 6.1	バドミントン 5.7	テニス 3.7	フィールドホッケー 2.2
ムンバイ	クリケット 89.7	サッカー 20.6	バドミントン 10.8	テニス 9.8	ボクシング 4.4
上海	サッカー 51.6	バスケットボール 46.7	水泳 32.3	卓球 32.0	バドミントン 24.1
北京	サッカー 55.8	卓球 43.2	バスケットボール 35.4	バドミントン 32.8	バレーボール 31.7
広州	サッカー 49.9	バドミントン 46.7	バスケットボール 37.4	卓球 36.5	水泳 31.8

アジア14都市の好きなスポーツ<トップ5>を集計 (都市数)

サッカー	13	ボクシング	5	野球	2
水泳	10	卓球	3	フィギュアスケート	2
バドミントン	10	バレーボール	3	フィールドホッケー	1
バスケットボール	9	モータースポーツ	3		
テニス	7	クリケット	2		

図2 アジア14都市における人気スポーツに関するアンケート結果

-アジア諸国の競技力-

サッカーの人気は非常に高いが、競技力は低い。

国名	FIFAランキング	AFCランキング
韓国	63位	4位
中国	97位	12位
フィリピン	134位	17位
ベトナム	142位	21位
シンガポール	149位	24位
マレーシア	154位	28位
インドネシア	156位	29位
インド	158位	30位
タイ	158位	31位
香港	164位	33位

図3 アジア14都市の各国のFIFA/AFCランキング

考察

・日本とアジア諸国の現状がある中で、日本人指導者がアジア進出することは、どのような影響があるのか？



アジア諸国における日本の指導力や日本の良さを伝えることができる

考察

- 日本において、どのようなメリット、いい事があるのか？



日本に対するイメージやリーグの人気に
つながる可能性が増加

考察

- アジア諸国のサッカー人気をどのように競技力に繋げるのか？



競技力の高い日本サッカーのノウハウや日本人の礼儀や集団行動のような日本式指導を受けることで競技力向上にプラスになる。

政策提言

指導者の長期派遣

- 現行の短期派遣から長期派遣に変革

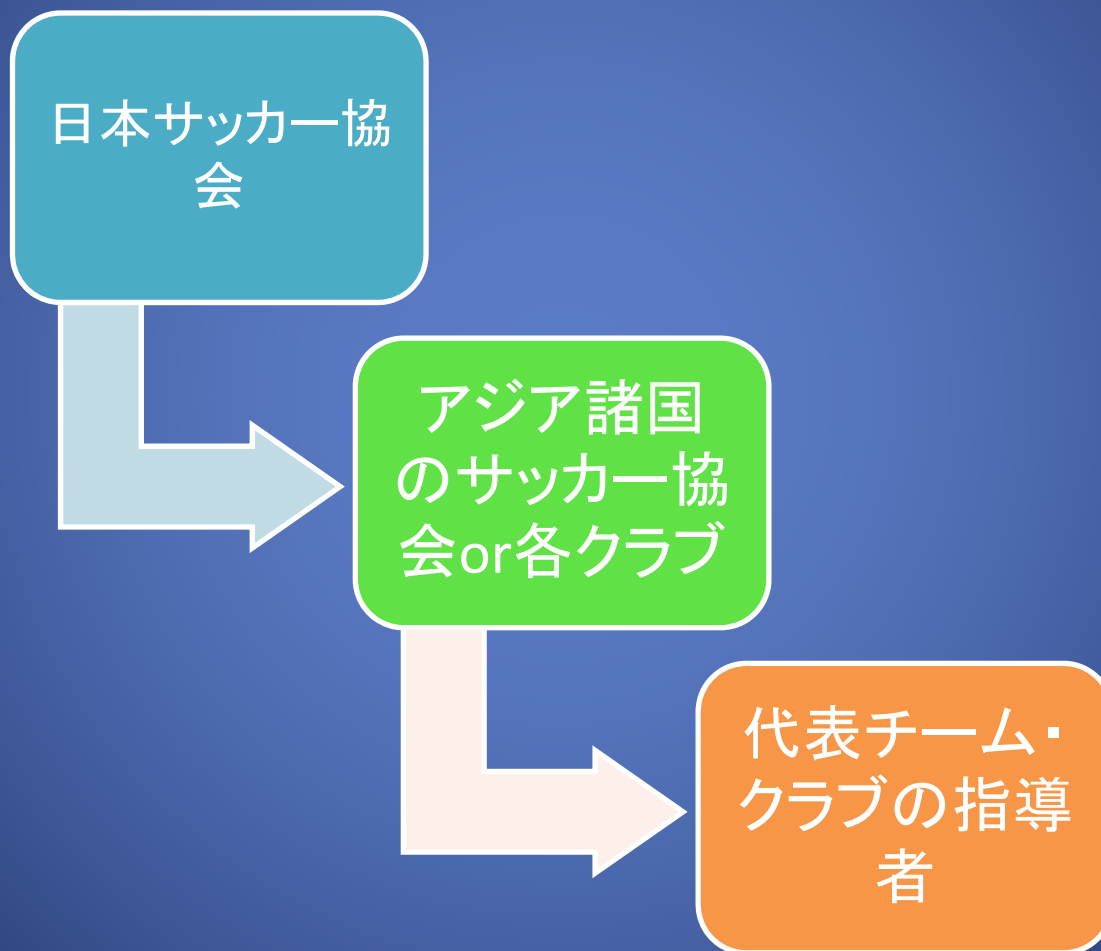
アジア諸国に指導者養成所設立

- 指導者を養成することで日本式指導法を普及

指導者の長期派遣

- 指導は時間を有するものであり、短期的ではなく、長期的な指導のほうが効果が期待できる。
- 長期的な目標をクラブや代表チームと取り組むことができる。

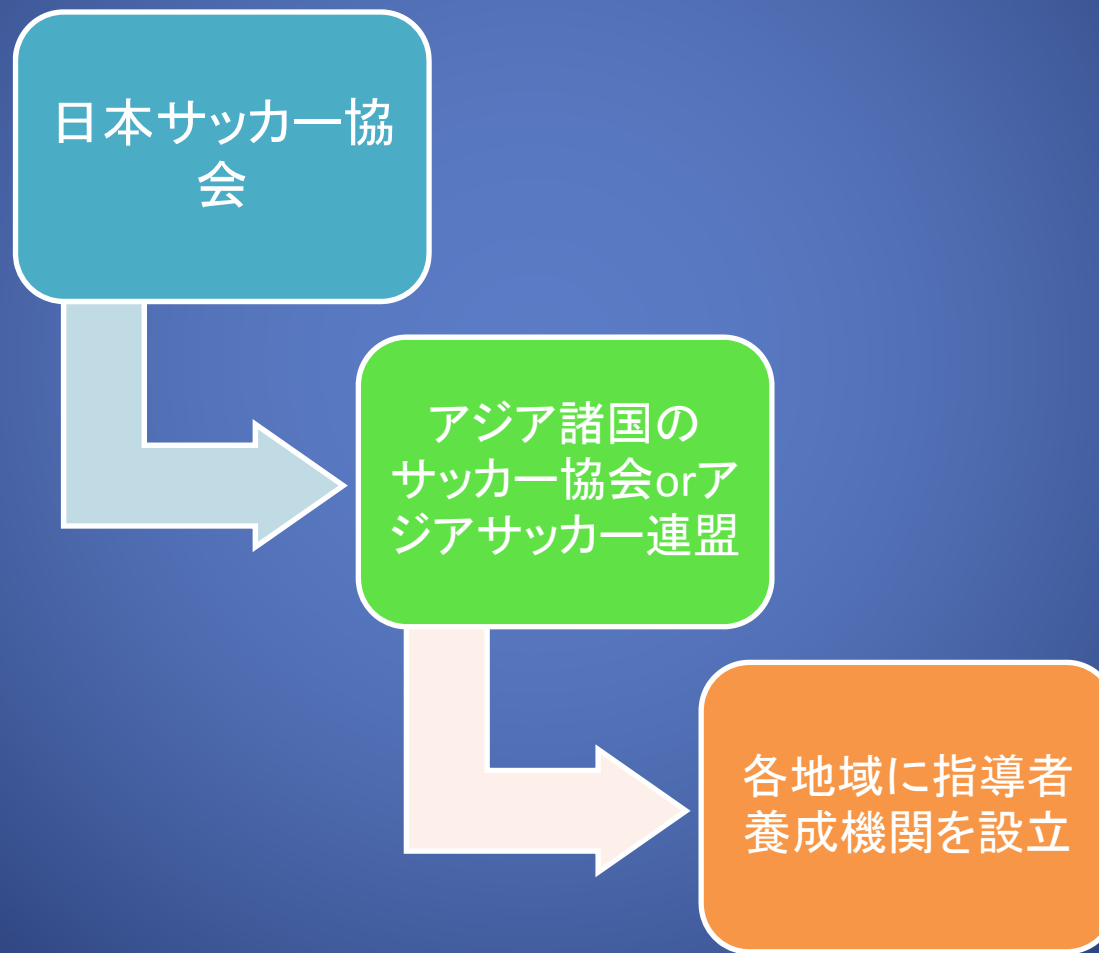
指導者の長期派遣



アジア諸国に指導者養成所設立

- アジア諸国の指導者に日本人指導者が指導する「先生の先生」を行う。
- 日本サッカーのノウハウや日本式の指導方法を行える指導者を増加させることで日本人指導者のブランド力と、アジア諸国の指導力向上に期待できる。

アジア諸国に指導者養成所設立



まとめ

日本人指導者が国際化することで・・・

- ・ 日本サッカーのブランド力向上
- ・ 日本のイメージや文化の理解
- ・ 指導を通じた国際交流

が可能になる！

参考文献

- ・公益財団法人日本サッカー協会「海外指導者派遣実績」(2013年7月現在)

http://www.jfa.jp/social_action_programme/international_exchange/dispatch.html

- ・国際サッカー連盟「FIFA/AFC Coca-Cola World Ranking」(2014/09/18)

<http://www.fifa.com/worldranking/index.html>

参考文献

・博報堂のグローバル生活調査レポート「アジア14都市の人気スポーツ」(2012/07/25)

<http://www.hakuhodo.co.jp/uploads/2012/07/20120725.pdf#search='%E3%82%A2%E3%82%B8%E3%82%A2+%E3%82%B9%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%84%E4%BA%BA%E5%8F%A3>